

ブーツドライヤーの歴史

当社のブーツドライヤーは創業まもなく製作を開始いたしました。しかし、その道のは決して簡単なものではありませんでした。何度も試行錯誤を繰り返し、お客様の声を元に何がダメなのか、足りないのかを研究し、辿り着いたのが現在の32G・50Gです。開発から、現在に至るまでの軌跡をこちらの紙面にて網羅いたしました。長年の経験と実績による集大成をぜひ、お客様の手で確かめてください。

発行所：株式会社シー・ケー・テクノ
〒381-2225
長野県長野市篠ノ井岡田433-1

創刊号

お客様の声を聞き
形にするものづくり



きっかけは、友人の一言だった！

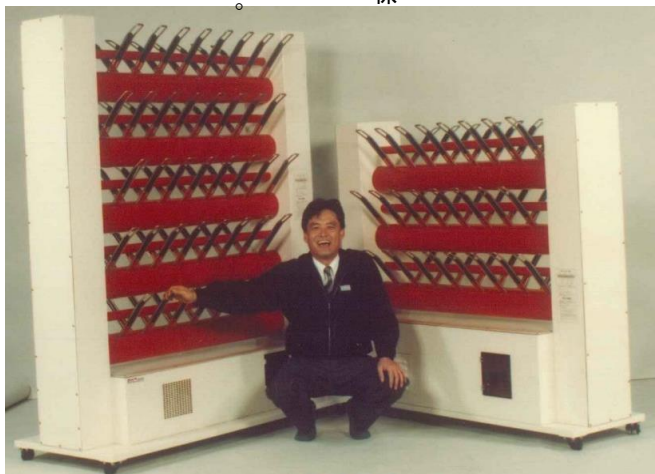
野沢温泉にいた高校時代の友人の要望にこたえて、開発を手がける。写真は、最初に試作したブーツドライヤーの原型。強度や、風量、材質の選定など何度も作り直して改良した。最初は納得のいかないものばかりだった。



CBD40A、CBD24Aが製品としてはじめて世に出たときの写真。

1994年から、2〜3年で80台を販売した。スキー関係の様々な設備の受注にもつながった。

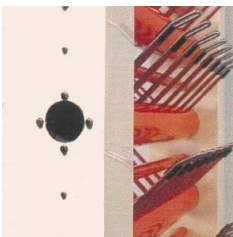
その後も改良を加え、シリーズまでラインナップした。



『温風供給ダクト』を搭載

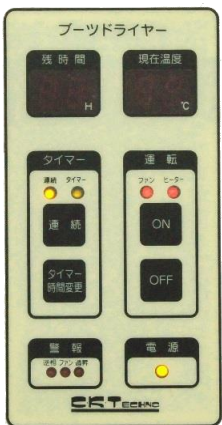
二重円筒で熱損失が少なく、効率よく運転できるように。

※実用新案登録済（実願平5-174619）



さらさらさまざまな機能が追加

CBD40Eより、操作パネルがダイヤル式（アナログ）からボタン操作のタッチパネル式に。繊維状活性炭フィルタをつけ、乾燥時の嫌な臭いを消す機能も搭載した。



原点に立ち戻り、イチから見直す

先のような多機能の製品を作っていく中で、本にお客様が必要としているもの、現在困っているものは何かを徹底的に研究し、長年の情性や思い込みを捨て、構造や見た目を、操作方法などを一新することにした。

それによって、新たに生まれ変わったのがCBD-32F。

今年にはさらに50足乾燥を可能とした50Gをデビュー。

ブーツドライヤーの進化は止まらない。



2013年リニューアルデビューしたCBD-32-F



2014年デビュー CBD-50-G